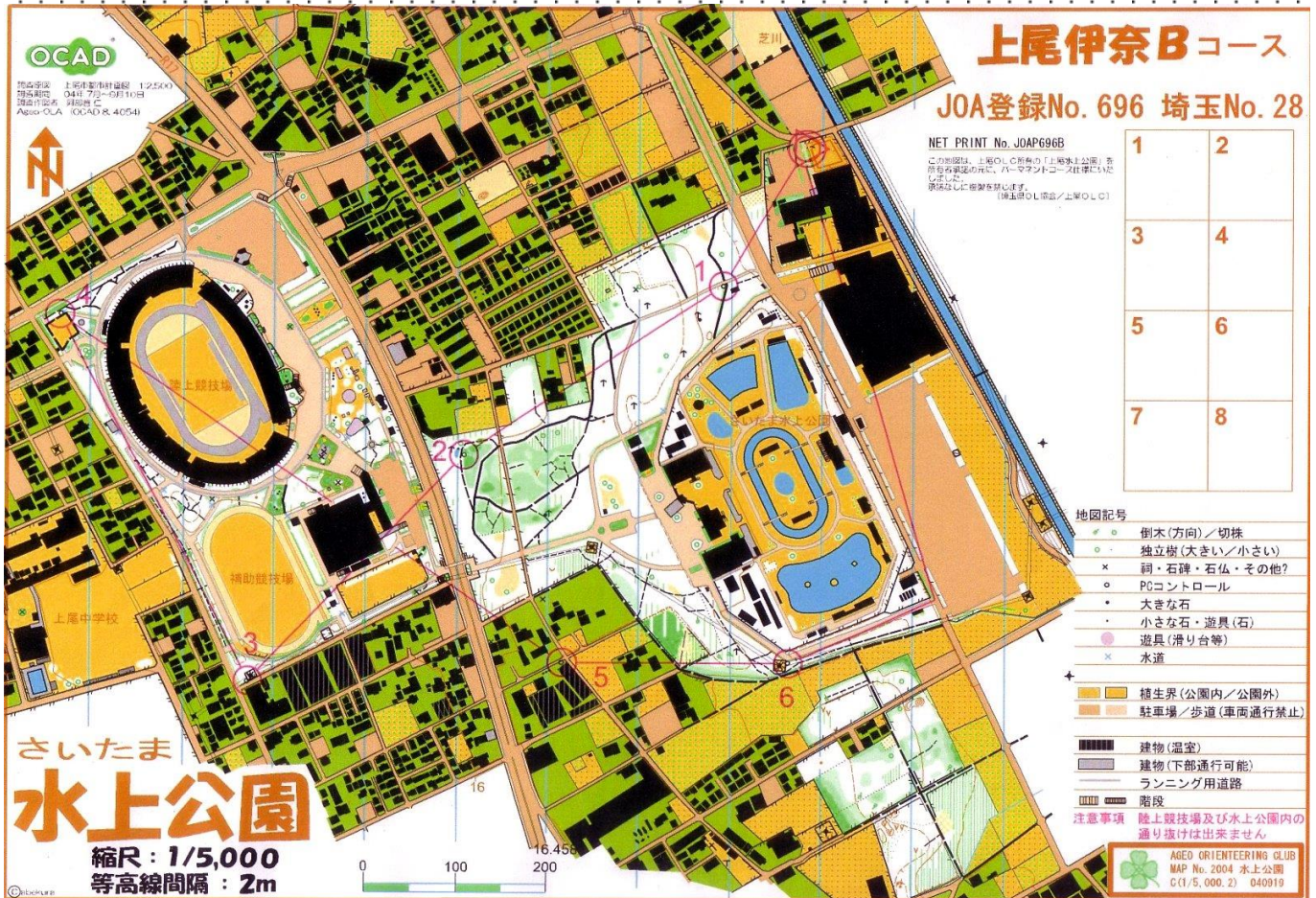


パーマネント
コース紹介

思い立ったらパーマコース

「上尾・伊奈 B」コース 埼玉県上尾市

大高竜亮



どんなに忙しくてもオリエンテーリングに浸っていたい！ そんな皆さんにおススメのパーマネントコースが今回紹介する上尾・伊奈 B コースです。

「上尾・伊奈 B」コース 埼玉県 No.28
JOA 公認 No.696 5km 6 ポスト

お手軽コース

ゆっくり歩いても 1 時間もあれば十分ひと巡りできるので、とってもお気軽。地図もネットプリントで入手できますので、事前に手配しておけばどんな時間でもスタート可能です。

そもそも上尾の地にパーマネントコースが誕生したのは昭和 60 年のこと。ニューシャトル丸山駅を基点とする 10km の 1 コースのみの開設でした。起伏のまったくない上尾にパーマネントコース!? そんな驚きがあったのを覚えています。加須花咲や鷲宮、川越と

いう等高線のまったく必要のない平坦なエリアに続々とコースが誕生したのもこの時期です。

「上尾・伊奈」コースと名乗っていた時代の昭和 61 年 6 月に踏破を果たし、その後誕生した B コースはミニコースということもあり、未踏破のままいつしか忘れ去ってしまいました。四半世紀以上が経過するなかで、10km の A コースは廃止され、B コースのみが残るといふ今に至り、ようやく今回初挑戦となりました。

1:20,000 時代のマップの左下に小さく記されていたさいたま水上公園と陸上競技場を縫って歩くパークオリエンテーリングコースです。エリアとしては完全に上尾市ですので、コース名に「伊奈」を入れる必要もない気もしますが…。

JR 高崎線上尾駅からスタート地点の県立スポーツ総合センターまでは徒歩 20 分ほど。上尾駅の東口に降り、駅前を走る県道を大宮方面に進みます。途中、今日の PC 巡りの無事を祈り、水川

鉾神社に立ち寄って参拝。最短路の原市街道を歩いて中山道を渡るとマップエリアに入ります。ちなみにこの「原市」というところはお笑いコンビの「ハライチ」の出身地としてほんの少しだけ話題にもなりました。



スタートはスポーツ総合センター

駅前では強く吹いていた冷たい風も収まり、スタート地点につく頃には穏やかな昼下がりとなりました。ネットプリントになってもマスターマップ形式時代の名残の案内板は健在です。案内板自体はかなりの年季が入り、JOA の住所は港区芝の頃のもので、ネット

プリント対応コースの紹介も、他に県民の森コースの記載があるばかり。

コース図の印刷されたマップを持参していることから、すぐに歩き始めます。ミニコースとはいえ、立派な公認コースです。しかも27年前に回ったAコースとの重複が全くないこともあり、他の本格コースと変わらないワクワク感がこみ上げます。コースはほぼ上尾運動公園の敷地内に設置されているため、安全面ではまったく問題ありません。小さなお子さん連れでも安心です。

林が広がる公園

クランク状に続く砂利道から道路を渡ると、開放感満点の林が見えてきます。間もなく分岐にある第1ポストもあっさり姿を現します。埼玉県特有の華奢なポストも赤錆が目立つようになり、風格が備わっています。

ここから第2ポストまではこのコースのなかで最も雰囲気の良い林間区間。住宅地に沿った道を歩きながらも、左手に広がる林の景色に出会えるのはここだけです。通行可能度も濃い緑で示された林の中に第2ポストは土台むき出しで置かれています。少々大きさに言えば、鬱蒼とした感じのする林です。



林に沿って第2ポストへ

南に抜けると国道17号線に到達します。アスファルトの劣化の激しい日の出歩道橋をわたるとそこは陸上競技場のエリア。テニスコートの南を進み、鉄塔を囲む金網横で第3ポストを発見します。



街中コースらしくマンションの前に第3ポスト

有料施設ということを知り、埼玉県のマスコットであるコバトンが頭を下げて伝えている補助競技場の横を抜け、そのまますぐに陸上競技場の脇を進むとふれあい広場の片隅に第4ポストが立っています。陸上競技場側に設置されているのは2つのポストだけ。競技場をぐるりとひと回りしてさきほどの歩道橋を目指します。競技場の周囲はジョギングコースが整備されていて、この日もたくさんの人たちがこのコースを利用していました。



陸上競技場をひと巡り

変わった形状の滑り台のある児童公園を抜けると間もなく歩道橋に帰着きます。次の第5ポストだけが公園外に設置されています。歩道橋から住宅地を抜けていくとビニルハウスを囲う生垣からひょっこり顔を覗かせているポストに対面。ちょうど三角頭が見えるように生垣が刈り込まれているのが、ポストを大切に扱ってくれているようで嬉しくなります。このポストが最も古びており、管理の良い埼玉県ではそろそろ退役が近そうな雰囲気です。

新たに開発された宅地沿いに進むとこれまた鉄塔の下で最終ポストを難なく発見。さいたま水上公園の南端にあたる場所です。冬季のためプールは休園しているものとばかり思っていたのですが、柵越しに覗いてみると意外にもたくさんの人影が見えてきます。何事かと思って近寄ってみると、一様に手に持つのは釣竿。どうやら夏季以外はプールフィッシングという釣堀に様変わりしているようで、10月から5月までは主にルアーフィッシングが楽しめるのだそうです。本来はもちろんプールとしての営業がメインだったはずですが、現在は釣堀を夏だけ泳げるようにしているといったら叱られるでしょうか。オリエンテーリングを始めるずっと前、おそらく小学校1年生の頃、ご近所づきあいをしていた家族に誘われ、私もここで泳いだ記憶が残っています。今ではすっかり古びた印象は否めませんが、開園された昭和46年当時はこの規模でも「東洋一」の広さを誇ったそうです。



釣り人に開放された水上公園

フリーマーケットの開かれている駐車場を抜け、武道館の東側に走る水路沿いからゴールに帰着きました。所要時間はわずか46分です。

帰りは大宮で乗り継ぎよく湘南新宿ラインの逗子行きがやってきたため、都心で乗り換えなく終着駅まで宮部みゆきの大作『ソロモンの偽証』を読みふけていました。

大阪を中心に一時期公園内PCが盛んに新設されましたが、こんな気軽に楽しめるコースの良さを改めて実感した1日でした。

(2013年2月11日 踏破)

(大高竜亮)